

元伊勢能

2023
11.16
[THU]

12時より
御神事
14時より能
【野守】

ご観能
無料

どなたさまも
ご覧いただけます

地域に五穀豊穰・天下泰平を
祈り稲穂と能楽を奉納します

元伊勢皇大神社様において、日本文化の原点である稲作を担われる大江町毛原地区の皆様方のご理解とご協力を賜りまして、奉納能をさせていただきます。

能【野守】

シテ 林宗一郎
ワキ 江崎 欽次郎
アイ 茂山 忠三郎
笛 齊藤 敦次郎
小鼓 大倉 源次郎
大鼓 森山 泰幸
後見 松野 浩行
味方 樹下 千慧
宮本 團
齊藤 茂樹
笠田 信輔
祐樹

野守 Nomori

大和の国、春日の里に葛木へ向かう山伏が着くそこへ野の番をしている野守の老人がやってきて、池に「野守の鏡」があることを教えます。野守の鏡とは、鬼神が持っていた鏡であることを語り、和歌のいわれについて語ります。山伏がその鏡を見たいというと、鬼の持つ鏡は恐ろしいので、水鏡を見よと言ひ放ち、塚の中へ消えていきます。山伏が塚の前で祈禱をしていると、鬼神が鏡をもって現れ、天界から地獄までありとあらゆるものを映し出し、やがて鬼神は大いなる大地を踏み破り奈落の底へと入っていくのでした。



令和三年よりご縁をいただき、稲作文化と能楽のつながりが京都にとりましても重要な土地である元伊勢内宮皇大神社様において今年も稲穂と能楽奉納をさせていただきたく存じます。五穀豊穰を願う神楽や、田植えにおいては田楽とよばれる芸能との繋がりは、能楽のルーツの一つであります。収穫祭においては神様へ捧げ、感謝の意を表します。またそこにも芸能との深い繋がりがございます。常に稲作と能楽が一体となっていたその精神を思い出し、後世に残し伝えてまいります。つきましてはお力添えを賜りたくお願い申し上げます。

観世流能楽師
林喜右衛門家十四世当主
林宗一郎

御協賛のお願い

元伊勢能では皆様からの御協賛を
お願いしております

◇法人様一口 三万円より

◇個人様一口 一万円より

何卒よろしくお願い申し上げます

元伊勢能実行委員会

【お問い合わせ】

nohabi.motoise@gmail.com
080-5710-1981

(担当：後藤)

